

平和の輪を広げる平和行進の成果！！

今年の平和行進の特徴は、どの自治体の首長も一様に「ウクライナ侵略」を指摘しロシアの撤退要求と、罪のないウクライナ国民への残虐行為を厳しく批判していることです。ある高校では「核兵器の使用への是非」を記述式で問う試験問題もありました。

ウクライナへの支援募金

提起された「ひまわり募金」について、香川県原水協の4月の「6・9行動」で集まった募金や、観音寺市原水協の森川理事の提起に応え観音寺から、15,000円（2名）をはじめ5月9日までに3組織12名が日本原水協へ送金、その合計は102,196円となりました。全体で約400万円超の段階では県内募金は多いと思われます。これに平和行進での募金を加えると107,766円となります。

新婦人川添支部が、写真展

5月24日（火）新婦人川添支部は、初めてコミュニティセンターで原爆写真展を開催しました。この取り組みは、改憲反対署名の目標達成のために、地域訪問をしようと22軒訪問。その反応には「賛否両論」がありました。そこで、「原爆写真展」で地域に発信しようと取り組みを決めました。成功のため2,000枚のチラシを地元紙に折りこみ。1日だけの展示でしたが、35人が来場しました。その中で「原爆と人間」ミニパンフを15冊普及、残り5冊は手分けして増やそうとなりました。

民医連は毎朝ニュースの拡散

民医連では、送った行進ニュースを朝礼で院内報に添付して周知しました。そして毎週月曜日には民医連の独自ニュースを3回発信。行進ニュースの中で、民医連の初参加者や行進者の紹介などを織り込み身近な情報発信を心掛けました。こうした取り組みで総参加者は医療生協組合員含め190人になりました。

丸亀市原水協からも、ミニパンフ「8冊」注文が入りました！！



5月22日愛媛・香川
県代表と
山口逸郎さんとの
横断幕引継ぎ